



UNIVERSITY OF CAMBRIDGE INTERNATIONAL EXAMINATIONS  
International General Certificate of Secondary Education

www.PapaCambridge.com

**FIRST LANGUAGE JAPANESE**

**0507/02**

Paper 2 Reading and Directed Writing

**May/June 2009**

**2 hours 15 minutes**

Candidates answer on the enclosed Answer Booklet

No Additional Materials are required.



**READ THESE INSTRUCTIONS FIRST**

Write your Centre number, candidate number and name on all the work you hand in.

Write in dark blue or black pen.

Do not use staples, paper clips, highlighters, glue or correction fluid.

Answer **all** questions.

At the end of the examination, fasten all your work securely together.

The number of marks is given in brackets [ ] at the end of each question or part question.

**受験生への諸注意**

提出物全て（解答用紙、その他）に、センター番号・受験番号・氏名を記入しなさい。

黒または濃い青色のペンを必ず使用すること。

ホッチキス（ステープラー）やペーパークリップ、蛍光ペン、のり、および修正ペンなどの使用禁止。

すべての問題に答えなさい。

試験終了時には全ての提出物をまとめ、必要によっては配布されたひもなどでくくりなさい。

配点は各設問の最後にある [ ] 内に示されています。

This document consists of **7** printed pages, **1** blank page and **1** inserted Answer Booklet.



## パート1

次の【A】と【B】は「フリーター」について述べたものです。二つの文章を読んで、後の問1と2に答えなさい。

### 【A】

2003年五月に発表された「国民生活白書」には、「デフレと生活ー若年フリーターの現在」という副題がつけられた。中高年中心の雇用対策のかけで見過ごされがちだった「定職に就かない、あるいは就けない若者」の存在が、ここへきて急浮上してきたためである。

雇用問題というと、日本ではまず中高年のリストラが挙げられるが、世界的に見ると、これはむしろ例外とでもいい。多くの欧米先進国では、すでに80年代から若年失業が深刻な社会問題となっていた。(中略)わが国において若年失業の増加が遅れたのは、他国と比べて新卒者の一括採用の仕組みが定着していたからだ。しかし、それ以外にも理由はある。実は、フリーターの労働市場が若年失業のセーフティーネットになっている、という日本特有の構造があるのだ。リクルートワークス研究所の大久保幸夫所長は、「学卒後の若者にこれだけアルバイトの求人があふれている国はない。就職できなくても、失業しても、いざとなればフリーターがある。そしてフリーターは、常用雇用か臨時かは別として、失業者ではない。これらの構造が失業率を低く抑え、かつ、社会問題化するのを制御している」と指摘する。さらにフリーターの約七割が親と同居していることから、いわゆる「パラサイトシングル」を許す家庭環境が経済基盤の弱いフリーターの生活を支え、結果的に、若年失業者の抑制に寄与してきたとの見方もある。前出の「国民生活白書」によれば、そのフリーターはここ10年で二倍以上に急増、2001年には417万人に達した。若年失業率は現状でも最悪の水準だが、フリーターという働き方が成立していなければ、もっと悪化していた可能性は否めない。

では、なぜフリーターの増加が懸念されるのか。昨今の論議では、当事者である若者だけでなく、社会全体をむしろ危機であるとの認識から、主に次の三点が問題視されている。①フリーターはマニュアル作業が中心で、高度な職業能力が身につかない。そういう人材が増えると、日本全体の生産性が低下する。②賃金が低いため、消費水準が低く、年金など社会保障の担い手にもなれない。結婚や出産もできず、少子化に拍車がかかる。③正社員との賃金格差が社会の階層化を進行させ、治安の悪化を招く。

とりわけ、消費低迷や人材の劣化に危機感を募らせる経済界には、若者の甘えや労働意欲の低さを批判し、そういう若者を社会に送り出す教育現場に苦言を呈する声が多い。たしかに「何がしたいかわからない」「仕事が面白くなければ辞めればいい」といった若者の就労感の変化は、これまでも指摘されてきた。しかしそれとは別に、若年失業やフリーターが増える背景には、若者が就職したくてもできない社会状況がある。経済の低迷が続く中、人件費圧縮を進める多くの企業が、中高年の雇用を守る代償として、若年の採用を控えているという現実だ。フリーターの約七割が本当は正社員希望だった、という内閣府の調査結果がそれを裏付けている。

フリーターという言葉が生まれた80年代ごろは、束縛を嫌い、あえて定職に就かない傾向が強かったが、いまはそうせざるを得ない若者が増えている。しかもフリーター生活に入ると、そこから抜け出すのも容易ではな

環境が厳しく、不本意な就職先に就いた人が多いことなども影響していると「国民生活白書」は分析している。で、「90年代半ば以降の大幅なフリーター増加要因としては、どちらかといえば企業側の要因が大きい」と論じている。名古屋大学の太田総一助教授も、世論の安易な若者バッシングには批判的だ。「多くの企業が今を乗り切れているのは、人件費の安いフリーターのおかげですが、矛盾を彼等におしつけていても景気は上向きません」。フリーターの増加を懸念する経済界においても、サービス業を中心に、いまやフリーターはなくてはならない存在になっている。この構造的な矛盾が、日本の若年雇用問題を難しくしているのは間違いない。

「日本の論点 2004」データファイル 31「基礎知識」フリーターの増加が社会に及ぼす影響とは？(株)文芸春秋 362-363 ページから抜粋

## 【B】

政府は若者の雇用対策の一環として、「トライアル雇用」や「ジョブカフェ」などの施策を通して、本年中に20万人のフリーターを「正社員」などの定職に就かせ、毎年20万人ずつフリーターを減らしていくとの方針を明らかにしました。

定職に就きたくても就けないフリーターに対しては、もちろん、こういった支援が非常に重要だと思うのですが、一方で、自分の夢を実現するためにあえてフリーターという働き方を選び取っている若者にとって、それで十分なのでしょうか。フリーターをめぐる議論が、彼らの存在を「悪」と決めつけ、フリーターをなくすという点に終始している点が私には気になります。

例えば、「30歳までにギタリストとしてデビューしたい。今は皿洗いのアルバイトで、月に5～6万の収入しかないけれど、毎日が楽しい」というような若者は、収入は少なくても、自分の夢を追求しながら満足感を持って生きている。いわば、未来の夢に向けた「未来給」という報酬を得て働いていると言ってもよいでしょう。このように、音楽でも、スポーツでも、芸術でも、自分の才能を活かして生きてゆこうとする若者には、むしろ、正社員でなくても安心して暮らしていける環境や、年金や福利厚生、教育や健康管理などのサポートインフラを整えることの方が大切なのではないかと考えています。

その考えを実践するための試みのひとつとして、パソナグループではこの3月、スポーツ選手が安心して競技生活を続けることができるよう、経済基盤の確保から引退後の仕事探しまでを行なう株式会社パソナスポーツメイトを設立。人材派遣の仕組みを活用して、大会出場やトレーニングのため仕事を見つけることが難しく、将来への不安がつきまといがちなスポーツ選手の競技生活を支援していきます。

現在の日本は、「正社員雇用」を前提としてすべての社会基盤がつくられています。しかし今後は、自分の夢や志を実現するためにひとつの会社に帰属しない生き方を求める人々が、自由に安心して働ける社会に変えていくべきでしょう。そしてそんな社会の実現に挑戦していくことが、これからのパソナの役割であると私は考えています。

(人材派遣会社) パソナグループ代表 南部靖之オフィシャルウェブサイト

[http://www.nambuyasuyuki.com/newspaper/backnumber\\_200505.php](http://www.nambuyasuyuki.com/newspaper/backnumber_200505.php)

問1 【A】と【B】のエッセイを読んで、日本のフリーターの現状について、主要な点を400字程度で要約しなさい。

問2 【A】と【B】を読み、フリーターの現状について自分の考えをまとめ、雑誌への投稿文を300字程度で簡潔に書きなさい。あなたはフリーターという生き方に賛成しますか。その理由は何ですか。それとも、フリーター増加は社会問題だと考えますか。その場合、問題解決のためにどんな提案がありますか。事例などを添えて、説得力のある文を書きなさい。 [20]

## パート2

問 次の3-7の空欄( )に入れるのもっとも適するものを、下のアーエの中から一つ選んで答えなさい。

- 3 毎週、火曜日と金曜日の夕方は、市営プール( )泳ぐことにしている。  
ア に イ へ  
ウ で エ を [1]
- 4 私といとは一緒に育てられたので、( )兄弟のようなものです。  
ア すなわち イ 従って  
ウ 言わば エ 結局 [1]
- 5 これが一万円もするのですか。( )なんだか安っぽいですね。  
ア それによると イ それだけが  
ウ それだから エ それにしては [1]
- 6 雨雲が出てきたよ。出かける( )傘を持って行った方がいい。  
ア ば イ なら  
ウ たら エ と [1]
- 7 「本日は( )頂きまして、ありがとうございました。」  
ア お招き イ 招こう  
ウ 招かれ エ 招く [1]

問 次の8-12の空欄( )に入れるのもっとも適するものを、下のア-エの中から記号で答えなさい。

8 その問題だったら( )解決したはずだ。もう気にすることはないよ。

- |   |     |   |      |
|---|-----|---|------|
| ア | ぜひ  | イ | まだ   |
| ウ | どうか | エ | とっくに |

[1]

9 海で一日中泳いだら、ずいぶん日焼けした。肌が真っ赤で、( )して痛い。

- |   |      |   |      |
|---|------|---|------|
| ア | がりがり | イ | じくじく |
| ウ | ひりひり | エ | がんがん |

[1]

10 私が間違っていました。真実のお話を聞いて( )から鱗が落ちました。

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ア | 口 | イ | 目 |
| ウ | 足 | エ | 背 |

[1]

11 物事が全て順調に運ぶことを順風( )といいます。

- |   |    |   |    |
|---|----|---|----|
| ア | 清風 | イ | 層雲 |
| ウ | 帆走 | エ | 満帆 |

[1]

12 有名人が勢ぞろいとあって、パーティ会場は物凄い人混み、全くの( )だ。

- |   |      |   |      |
|---|------|---|------|
| ア | すしづめ | イ | おりづめ |
| ウ | ひきづめ | エ | はりづめ |

[1]

問 次の 13-17 の下線で示された言葉について、それぞれの類義語を書きなさい。(例:安)

- 13 是非、彼の意向を聞きたい。  
 14 20歳を過ぎたら経済的にも自立したい。  
 15 自分の考えを主張する時は、その根拠を明らかにするのが良い。  
 16 「紙屋町」という町名の由来は、江戸時代に和紙職人が住んでいたことにあるらしい。  
 17 彼は、自分の財産を一切投げ打って奉仕した。

[5]

問 次の 18-22 の下線の単語の品詞名を下から選んで記号で答えなさい。

秋 18になると、19この町から 20海水浴客が 21消え、通りは 22ひっそり静まり返る。

- |   |      |   |     |   |     |   |    |
|---|------|---|-----|---|-----|---|----|
| ア | 形容動詞 | イ | 助動詞 | ウ | 連体詞 | エ | 助詞 |
| オ | 接続詞  | カ | 名詞  | キ | 形容詞 | ク | 動詞 |
| ケ | 副詞   | コ | 代名詞 |   |     |   |    |

[5]

---

*Copyright Acknowledgements:*

Part 1 (A) © Kenji Hirabayashi et al; Data File No. 31; The Impact of increasing Free-ters on the Japanese Society. The issues for Japan 2004; Bungei shunju; 10 November 2003

Part 1 (B) © Yasuyuki Nanbu; Net-Cafe Nan-min (Refugees); Asahi News; [www.asahi.com/life/update/0828/TKY200708280056.html?ref=900](http://www.asahi.com/life/update/0828/TKY200708280056.html?ref=900) 28 August 2007

Permission to reproduce items where third-party owned material protected by copyright is included has been sought and cleared where possible. Every reasonable effort has been made by the publisher (UCLES) to trace copyright holders, but if any items requiring clearance have unwittingly been included, the publisher will be pleased to make amends at the earliest possible opportunity.

University of Cambridge International Examinations is part of the Cambridge Assessment Group. Cambridge Assessment is the brand name of University of Cambridge Local Examinations Syndicate (UCLES), which is itself a department of the University of Cambridge.